



会員数 26人

北九州プロバスケットボールクラブ月報

つながり

No. 207

令和5年9月号

2023. 9. 19

8月例会報告

例会後、暑気払いが予定されていたため、通常より1時間早い午前11時からの開会で、26人の会員が出席、松永会長が新会長として「初心に戻って楽しいクラブを目指したい」など抱負を述べながら開会挨拶、8月生まれの柴村さんら3人の会員にお祝いを贈った。議題では総会の反省として9月例会前に臨時総会を開き、会則の補充を提案すること、来年6月のクラブ創立25周年の記念事業の準備をするため、三役など役員7人で実行委員会をスタートさせたことなどの報告があった。

(安高)

委員会報告

例会委員会

9月5日 9名出席

今年度2回目委員会を湖月堂で開催した。委員が2名退会のため10名となり、欠席者1名で9名が出席、11月例会卓話候補の選考を中心に協議しました。八幡製鐵所等「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産登録プロジェクトを務めた人を第一候補に掲げ、早急に交渉することとなりました。

また、例会委員会の今後の運営について、予算面の確認、会則・諸内規集の検討方針、会員増強策の今後等を話し合いました。なお、例会委員会運営に関する会員アンケートの回答内容は9月例会で全会員に配布することを決めました。(松本)

交流委員会

8月22日 10名出席

例会の空き時間にスティールハウスロビーで、初めての委員会を開催しました。委員会メンバーの確認や今年度の会議の場所、時間等の確認、委員会の仕事として1日ツアーや研修会等沢山ありますが、委員の皆さんの協力を頼みに進めたいと思っております。楽しく、楽しくが委員長の思いです。宜しくお願いします。

9月12日 11名出席

いつもの湖月堂で午後5時30分から開催しました。

1. 交流委員会の目的として
 - (1)一泊旅行 年1回
 - (2)日帰りツアー 年2回
 - (3)施設見学 年2～3回 実施
2. 誕生カード作成関連全般
3. 同好会関連
4. 新年会等司会進行

(吉田秀子)

広報委員会

9月1日 10名出席

テトラホテル北九州で12時30分からスタート。昼食をとり歓談の後、「つながり10月号」の編集会議に入り、原稿出筆者や写真担当の確認をし、印刷方法や「つながり9月号」の校正も行いました。続いて会報「Link24号」の進捗状況を説明。随想の掲載を入会順に変更することや退会者の取り扱い等の検討も行い、活発な意見が出され有意義な時間を持つことが出来ました。そして9月例会では「随想」の全員校正を行いますので、ご協力を!

9月もまだまだ厳しい残暑が続きそうである。来る10月の山場に向けて、委員の皆さんの体調管理を切にお願いして委員会を終えました。(内藤)

お誕生日

おめでとうございます



柴村美和子 (13日)

吉田 秀子 (16日)

古賀 靖子 (23日)

暑 気 払 い



本気(マジ)のメンバーが熱唱中…



「歌をうたう会」は本当に本番が強〜い



渋い歌声にはまりそう



真面目さが画面に溢れてる



うん？ 手が気になっちゃって…



締めの一曲は…



よ！ 名司会者



二人の歌う気だけが「上を向いて…」る？

古賀えみ子会員と安河内会員の司会で開始。松本例会委員長の開会挨拶に続き、古賀副会長の乾杯発声でスタートです。会食は涼夏の暑気払いを込めた料理の数々で、どれも美味しく楽しみました。

「歌をうたう会」のコーラスで「われは海の子」「荒城の月」など。テーブル毎の合唱では各組とも楽しんでいて優劣なしでした。カラオケは松本会員の「古城」でスタートして華やかな競演でした。

～ 同 好 会 活 動 報 告 ～

🍷 ワインを楽しむ会 🍷

残暑とはいえ、暑さの厳しい8月27日、138回のワインを楽しむ会を、何時もの会場「リップ」で午後6時から8名の参加で開催。今回から病を乗り越えられた山下博会員のface timeが復活。まずはブリュゴーニュのシャルドネに、お肉のパテ、ポークリエットの前菜。次いでカベルネ・ソーヴィニオン、シラーのフルボデイが続き、これに合わせて料理もエビと野菜のパイ、ポークの詰め物ローストと続き参加者は大いに満足して、何時ものながら滑舌もよかった。最後はアルコール、料理とも見るだけの講師山下博会員に体調の完全回復でこの会にご自身が参加されます事を、各人各様の言葉で述べ励ました。(古賀靖子)



🍷 食美会 🍷

9月6日午後0時30分から、ART HOTEL KOKURA (New Tagawa)で10名の全員参加により開催した。メニューは「牛ひつまぶし」で、お櫃の中のご飯の上に短冊に切った牛肉を載せ、別に用意された薬味で調味しながら賞味した。ウナギのひつまぶしは名古屋発祥の郷土料理だが、ウナギの代わりに牛肉が載ったひつまぶしは始めての方も多く、世話役吉田秀子会員のおいしいものを探す眼力に皆が舌鼓を打った。(山下静江)

歌声に優劣なく



「古城」は👉イネ!!



神田さん
練習してきたね～
素晴らしい



じゃんけんゲームは必死です
新城さんおめでとう!!



「北九州知っちゃおう?」クイズ
確か若松の大鳥居の近くの……



はるみちゃん!
失礼
美和子さんでした



大石さん 決まってる !!



画面いっぱいの やる気! 歌う気!



錘々たるメンバーのテーブルでした

～ 同好会活動報告 ～

Ⅰ. 日本酒の会 Ⅰ.

8月29日午後6時から9人の参加で始まりました。マダム的心づくしの料理が出されて、マスターお勧めの特別なお酒で乾杯します。今回は秋田の刈穂酒造の山廃純米生原酒“気魄”の超辛口+25です。その美味しかったこと、今までで一番インパクトのある美酒でした。2番目は石巻の墨ノ江酒造の純米吟醸“谷風”、3番目は福井の黒龍酒造の“九頭龍”の純米酒、4番目は、滋賀県富田酒造の“七本槍”木之環(木桶)仕込み、どのお酒もそれぞれに深い味わいがあります。いつものように、おいしいお酒と料理と楽しい会話を満喫できて、とても幸せな気分になりました。(藤原)

Ⅱ. 歴史文学講座 Ⅱ

若松の芥川賞作家火野葦平をテーマにした講座を8月29日午前10時から、松本清張記念館で開催した。出席したのは、ゲスト1名を含む5名。

今回の話は、葦平が首藤研吉のペンネームで書いた「盲目の暦」。「福岡大空襲」、若松の「建物疎開」などで、1945年4月から7月にかけての戦時下民衆の悲哀を描き、次の遺作「革命前後」につながる作品で、葦平の死後出版された。

講師の坂口博火野葦平資料の会会長は、作品に登場する人物のモデルを分析、そのモデルがどのように描かれているかなどを含めて語った。次回の9月26日のテーマは遺作の「革命前夜」。(松本)

ミラノの有名アーケードや高級品店街では銀製品から宝石、バック、靴と素晴らしい品々が何でも手に入る。食料品も PECK(ペック)という高級食品スーパーがあり、国中の希少品もグラム単位の量り売りをする専門店が並んでいる。嬉しいことに総菜もあるので、ホテルの部屋でちょっとリッチな食事ができる。それらの店の前は往々にして駐車禁止なのに、運転手付きの高級車がとまっている。まあ高かったら店を出ればいいし…と考えている日本人には、過酷な2つの現実が待ち受けている。

ステップ 1、最高級品店の扉は押しても引いても開かないことがある。扉の決定権は中にある門衛にあるので、20～30 年前の日本人の旅行服は機能的よりも貧相に映ったらしい、入れてくれない。貴金属品店などは、NO!と鼻であしらわれたり、先に入った客がゆっくりと買い物できないと拒否されたりもした。まるで不審人物扱いである。店が客を選ぶなんて！

ステップ 2、“イタリア語での交渉！”が出来ると出来ないのでは大違い。英語で聞いても「この人たちなんて言ってるの？」と通じないふりを、意に副わない客には品物があっても「これは売り物じゃない！」とまくし立てられて玉砕。さらに何とか会話を試みようとする、バックヤードに消えていく。客を放り出すことも平気なのである。つまり交渉術が必要となる。まず英語を捨てて、片言でも兎に角イタリア語をしゃべる努力を見せると良いこともある。例えば、靴や鞄のブランドで定番のスタイルのものを「昨年、タイプ、見せて？」と言うと、バックヤードから半額の値段のものが登場する。これらをクリアできるのがバック旅行だが、これもそれなりのリスクはある…いろいろとね。

現在は“日本人は金持ち”の自覚があるので、扉は客が開閉できる店が多くなりましたが、その人相応の品物を、バックヤードから出してくるのは変わっていない。高いものを提示されたら足元を見られたか、セレブに見えたと言うことです。



千羽鶴を贈呈



昨年 4 月に「北九州市平和のまちミュージアム」が開設され、北九州市民の戦没者慰霊祭が、8 月 9 日に実施されている。昨年から会員全員が折った、鎮魂と平和の祈りを込めた千羽鶴を贈呈している。



一羽一羽心を込めてつなぎました

今年は 8 月 17 日午後 3 時より会員 9 人が集まり、松永会長が代表してミュージアムの事務局長へ届けました。今後も毎年平和を祈り、千羽鶴を贈ることにしましたので、来年からは、慰霊祭に間に合うように 7 月末までに届けることを約束いたしました。

悲惨な戦争を二度と繰り返さないという誓いと、世界平和の願いを込めて一羽ずつ折り続けたいと思います。(松永)

ありがとう BOX メッセージ 8 月分 (順不同、敬称略)

★今日も例会に出席出来ました(遠藤) ★まだまだ続く猛暑を元気に乗り切りましょう(大石) ★青春に戻る。大事な人生。今日も一日。(大川) ★(植田) ★この沸騰化時代。気力で乗り切りましょう。(古賀靖子) ★歌をうたう会練習の成果が出たと思います(近藤弘子) ★今日はお誕生日を祝って下さりありがとうございました(柴村) ★猛暑が早く終わって欲しいものです(新城) ★健康第一(中山) ★忙しくも楽しい夏でした(橋本) ★暑気払いはとても楽しかったです(藤原) ★みんな歌お上手ですね。楽しかったです。(洞) ★(松本) ★感謝(松永) ★(眞鍋) ★(安高) ★久しぶりに大声で歌いました。(吉田秀子) ★暑さに負けず頑張りましょう(吉田信雄)

収支報告	7 月末残高	166,532 円
	8 月分	9,000 円
	8 月末残高	175,532 円